



水稻の総合防除(IPM)の普及推進に向けたオンラインセミナーを開催します



2025年
11月12日(水)
13:30～15:45
Webex開催 参加費無料

〈参加対象〉

農業者
生産者団体
地方公共団体
JA等



近年、病害虫の侵入・まん延リスクが高まる中、化学農薬だけに頼らない「予防・予察」に重点を置いた「総合防除(IPM)」の取組拡大が重要、かつ急務になっています。

本セミナーは、防除技術の研究開発及び実証等を紹介することで、総合防除への認知を広め、農産物の安定的、効率的な生産に資することを目的として開催します。

プログラム

- 1 総合防除の一層の推進と現場への浸透について
農林水産省消費・安全局植物防疫課
- 2 兵庫県の総合防除の推進について
兵庫県農林水産部農業改良課
- 3 アプリによる病害虫発生予察について
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
- 4 兵庫県における水稻害虫の総合防除技術
兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター
- 5 地域にあった防除体系の実証について
(農業改良普及センターの取組)

兵庫県立農林水産技術総合センター企画調整・経営支援部

〈申込〆切〉

11月5日(水)

参加申込は、以下のアドレスまたは右記のQRコードにアクセスし、フォームに必要事項をご記入の上、送信ください。

＜申込先URL＞ 近畿農政局兵庫県拠点ホームページ

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kobe/index.html>

＜お問合せ先＞ 近畿農政局兵庫県拠点担当：弦牧、高須 ☎078-331-5924





継ぎ、繋がり、未来へつなげる

《小野市 NAKAGAWA FARM 中河 美重さん》



トマトときゅうりのハウス栽培、お米を作っているNAKAGAWA FARMの中河美重さんを訪問し、お話を伺いました。

ー就農したきっかけは？ー

祖父が遺してくれた農地と、その想いを未来に繋ぎたいという気持ちから、7年前に就農を決意。令和3年1月1日には、認定新規就農者として本格的にスタートを切りました。もともと家業として農業に関わる機会はありませんでしたが、経営の軸を担うのは初めての経験で、不安も少なくありませんでした。それでも、母や周りの皆さんの支えに背中を押され、一歩踏み出すことができました。

「祖父の味を守り、私たちらしい農業を続けていきたい」——そんな想いを胸に、日々作物と向き合っています。

ーどんな農業を？ー

皮が薄くて甘みのある「フルティカ」や、酸味が少なく食味のよい「桃太郎ファイト」、カラフルな数種類のミニトマト、きゅうりをハウスで栽培しており、すべて小野市の認証“おのうまいもんブランド”に登録されています。加えて、特別栽培米「ヒノカリ」も育てています。

特に力を入れているのが“土づくり”。有機質肥料や菌床馬ふん堆肥を用いて、土づくりにこだわり、土壌環境を整えています。水や肥料の管理にも工夫を重ね、甘みと酸味や食味などバランスのとれた野菜づくりを追求しています。

農園の運営は、私と母、そして4名の女性スタッフの計6名で行っています。それぞれが家庭や子育てと両立しながら、チームワークを大切に、心を込めて作物を育てています。



ーこれからの展望は？ー

経営理念は「継ぎ、繋がり、未来へつなげる」。地域とともに成長し、次世代へ想いを繋いでいける農業を目指しています。

トライやる・ウィークでは近隣の中学生を受け入れ、農業の魅力や“食の大切さ”を伝える活動にも取り組んでいます。

また、直売所ではトマトのほかにもトマト加工品（トマトピューレ・トマトジャム・とまと甘酒）や旬の野菜の販売も行っており、野菜を通じてお客様とのコミュニケーションや繋がりも大切にしています。

ー地域と大学とつながる“とまと甘酒”ー

「とまと甘酒」は、流通科学大学との産学連携から生まれた商品です。地元の素材を活かし、若い世代と共に作り上げることで、「食」や「農業」が持つ未来への可能性を、広く社会へ伝える試みにもなっており、小野市のふるさと納税返礼品にも採用されました。

「学び」「地域」「農業」がにつながる新しいチャレンジとして、今後も展開を広げていきます。



(とまと甘酒)



Instagram



NAKAGAWA FARM 381

NAKAGAWA FARM
ホームページ
<https://nakagawa-farm.official.ec/>



解説！ 基本計画

女性を含めて安定的に雇用を確保するための取組は。

我が国の人口減少が進行する中、既に働き方改革に取り組んでいる他産業との人材獲得競争が激化しており、今後の農業に必要な人材を確保していくためには、男女を問わず農業が選ばれる産業となるよう労働環境改善を図ることが不可欠です。

このため、

- ・就業規則の策定や労働負荷軽減のための作業工程見直し等、各々の実情に応じた労働環境改善を行う農業法人等を支援するとともに、
- ・農業経営体における男女別トイレや更衣室等の確保への支援を行う等、農業現場における働きやすい環境づくりを推進していきます。

副地方参事官



ドメヌ カオル **総合化事業計画を認定しました (Domaine KAORU株式会社)** **“淡路島”といえば、“ワイン”といってもらえるよう頑張りたい**



(写真右から) Domaine KAORU株式会社の水口薫さん、
兵庫拠点阿部地方参事官

近畿農政局兵庫県拠点、令和7年7月30日付けで総合化事業計画の認定を受けたDomaine KAORU株式会社に対し、認定証を手交しました。

同社代表取締役の水口薫さんは、ニュージーランドの大学でワインぶどう栽培とワイン醸造を学んだ後、2020年に淡路市でワインぶどう栽培を始めました。

総合化事業計画では、ワイナリーを整備し、自社栽培のワインぶどうを使用したワインを製造するとともに、未熟・過熟ぶどう等を使用して、アグリダ（ぶどう果汁）、ジャム、パンを商品化することとしています。

これらの取組により、淡路島のワインの認知度を高め、農業経営の確立、収益の確保、地域雇用の創出を目指します。

総合化事業計画とは

六次産業化・地産地消法に基づき、農林漁業者等が、農林漁業経営の改善を図ることを目的に、農林水産物等の生産及びその加工又は販売を一体的に行う事業活動であって、農林水産物等の価値を高める、又は新たな価値を生み出すことを目指した計画であり、国が認定を行っています。兵庫県における認定件数は、令和7年7月末日現在で119件となっており、全国で北海道に次いで2番目となっています。



環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

株式会社 丹波篠山たけし農産 代表取締役 中島 武史さん

－自然と共に、未来へつなぐ農業を－

取組の紹介

中島さんは、丹波篠山の魅力に惹かれて11年前に大阪から家族で移住し農業を開始、2019年8月に認定農業者となりました。

就農当初から、農薬や化学肥料が環境に与える影響を考え、減農薬、減化学肥料で丹波黒大豆やお米、食用のバラを栽培しています。また、耕作放棄地を利用した錦鯉の養殖も行っています。

また、2023年4月に丹波篠山市が行った「オーガニックビレッジ宣言」の計画策定・実践のため、「丹波篠山ワクワク農都づくり協議会」の会長に就任しました。「水と創る農都ものがたり」をキャッチフレーズに、有機栽培技術の蓄積やマニュアルの作成、実証実験など有機農業の普及に取り組んでいます。

2024年からは農作業支援事業も開始し、人手の足りない全国各地の農家へ特定技能外国人の請負チームを派遣し、繁忙期の農作業を受託する取り組みを行っています。

今後も自然に寄り添い、持続可能な農業と地域に根差した取り組みを大切にしていきます。



中島武史さん（左）と従業員のライさん（右）



中島さんのほ場がある殿町地域は
25%が有機・減農薬栽培

オーガニックビレッジ宣言とは

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村が行う宣言のこと



丹波篠山たけし農産
ホームページ



丹波黒大豆

簡単な経営概況

水稻	50a
丹波黒大豆	50a
食用バラ	2.4a

道の駅「銀の馬車道・神河」 ～日本遺産を臨む歴史情緒あふれる道の駅～



道の駅「銀の馬車道・神河」は、兵庫県の中央に位置する神河町にあり、中播磨地域で初の道の駅です。

日本遺産として認定された日本初の高速産業道路とされる「銀の馬車道」（国道312号線）沿いにあることから、この名前が付けられました。

道の駅周辺には、現存する馬車道跡があり、神河町の食材を楽しむとともに、歴史情緒あふれる街並みを散策することができます。

道の駅には、地元の素材にこだわったグルメを堪能できるお食事処「かんざき大黒茶屋」と、地元の地域資源を活用した商品を販売するアンテナショップ「かまど」が併設しています。

（かんざき大黒茶屋 外観）



かんざき大黒茶屋では、地元の特産品販売や青果市が開かれています。その他にも、地産の生野紅茶を使用した「紅茶クッキー」や「神河ゆずシロップ」、「神河ゆず搾り」等が販売されています。

飲食コーナーでは、穴子まるごと1匹使った「銀の馬車道定食」や、平日限定の但馬鶏唐揚げ食べ放題も大人気です。

アンテナショップかまどでは、無農薬で栽培された神河町産の生姜を使用したジャムやシロップ、神河町の森林資源を活用したミツマタ和紙や木製小物を販売しています。その他にも、神河町の米粉を100%用いた「バターカステラ」等、神河町ならではの、ここでしか買えない商品を販売しています。

お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください！



（アンテナショップ かまど店内）



（生姜のジャム）



（現存する銀の馬車道）



（神河ゆずシロップ）

所在地：兵庫県神崎郡神河町吉富88-10

電話番号：0790-32-2837

営業時間：

（かんざき大黒茶屋） 3～11月 9:00～18:00

12～2月 9:30～17:30

（アンテナショップ ※土日月のみ営業） 10:30～16:00

（休憩コーナー） 9:00～18:00

休日：12月31日・1月1日

H P：https://michinoeki-ginnoba-syamichi-kamikawa.com



第46回兵庫県民 農林漁業祭

入場無料！

2025年
10月18土・19日

開催場所 県立明石公園内 千畳芝

開催時間 9:30～15:00（両日とも）

兵庫県内の生産・加工・流通関係者及び関係団体が、県内の五国のめぐみ（地域の農林水産物）を持ち寄り、展示・販売・体験等を行います。

近畿農政局兵庫県拠点では24番ブースで
有機農産物等の展示・販売を行います！

ぜひ来場ください！



← 詳細はこちら

地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL：078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp